



鍛造のハイパフォーマンスホイール（右）というイメージの「HRE」だが、2014年からは手軽に「HRE」ホイールを楽しんでもらうために鍛造ホイール（左）もリリースするという。もちろん鍛造といえど性能に妥協はない。

HRE PERFORMANCE WHEELS

高性能ホイールの「HRE」が 鍛造ホイールの販売を発表

アメリカ発のハイパフォーマンス・ホイールブランド「HRE」。その人気はアメリカのみに留まらず、ヨーロッパやここアジアでも急速的な広がりを見せている。原動力となっているのが、モータースポーツシーンを筆頭とする第一線で培われた本物の技術力、設計から製造まで全て自社工場内で管理するという品質への執着心、そしてこれら高いエンジニアリングをベースとしたうえでの圧倒的なデザインセンスだ。今年のオートサロンでは、ヘネシーパフォーマンス、D3、G-TECHといったチューナー各社のコンプリートカーにHRE最軽量モデル

「P101」を始め、「S101」「P104」「P04S」といった代表的モデルをフィッティング。HREが秘めるカスタマイズの可能性を具現に表現してみせた。オートサロン会場では本国HREより来日したワールドセールスマネージャーを務めるローレン氏が挨拶。「今年は鍛造ホイールシリーズをこれまで以上に広げてゆくとともに、よりお買い求めやすいFull Form（鍛造）シリーズも発売します。カスタマーの皆さまには3ヶ月ごとに新しいシリーズをご紹介できるように、今年も精力的に新製品を送り出すことを約束してくれた。



C7 コルベットのオフィシャル・アップグレードパーツに採用されたホイール「R-CV7」。サイズはフロント20×8.5、リア20×10。カラーは3色を用意。その他、ドレスアップパーツもラインナップする。



ROUD

NEW ブランド「ROUD」 C7 公認アップグレードパーツ

今回のオートサロンがデビューとなったNEWブランド「ROUD」。その第1弾アイテムとなるホイール「R-CV7」は、なんとC7コルベットのオフィシャル・アップグレードパーツに採用されている。デザインはスポーティなツインスポークタイプ。公認アイテムらしく、センターキャップにはコルベットのフラッグロゴ、そしてリムには「CORVETTE」の車名ロゴが刻印される。その他、「ROUD」はC7コルベットのパフォーマンスパーツとして、メッシュローバランスグリル、カーボンプリントテールライトベゼルなどを用意。C7のカスタマイズパーツをいち早くラインナップした。



TUNING CAR 2014
TOKYO AUTO SALON 2014

シックなカスタム&チューニング急増中!

文&写真 ● 日越まほろ
text & photo by HIKI Mahoro



G-TECH G-TECH Sportster GT/R での スーパー耐久参戦を発表

G-TECHは、ヨーロッパNo.1のアバルト・チューナーとして、高性能かつオリジナリティに溢れる魅力的なプログラムをカスタマーに提案し、ここ日本でも高い注目を集める存在となった。オートサロン会場ではアバルト500をベースとして開発された最もホットなロードゴーイングモデル「Sportster GT」を展示。合わせてドイツより、G-TECH代表

のヘルムート氏が来場し、2014年以降の展望を次のように紹介した。「G-TECHはパフォーマンスに優れた製品を開発することはもちろんですが、何よりお客様から信頼をいただけるということが大切であることを知っています。今年はG-TECHの持つ素晴らしい信頼性を知っていただくため、G-TECH Sportster GT/Rというレースカーで

スーパー耐久を始めとする日本の耐久シリーズに参戦する予定です。さらに今年4月には500LをベースとしたG-TECH 500L EVO-Rをお見せできるでしょう。また2015年にはアルファ Romeo 4C用のグレードアッププログラムの提供もスタートいたします。わくわくするような興味深いトピックに溢れるG-TECH。今年も目が離せそうにない。



HENNESSY PERFORMANCE

ヘネシーパフォーマンスは C7 コルベットのプログラムを用意

1991年設立と、比較的新しいチューニングメーカーながら、ヘネシー・ヴェノムGTでのギネス記録更新など、その技術力の高さが評判を呼んでいる「ヘネシーパフォーマンス」。今回のオートサロンではお得意のアメリカ車から、早くもC7コルベット用のチューニングプログラムを発表した。展示されていたC7コルベットHPE550は、その名の通り、吸排気とECUのチューニングをメインに、550hpまで最高出力が高められている。さらなるパフォーマンスを求める方にはHPE600、HPE700、HPE800、そしてツインターボのHPE1000まで、計5つのチューニングプログラムを用意。



D3

本命キャデラック・チューナーが 日本に本格進出を果たす

キャデラック専門のパフォーマンスエンジニアとして、すでにアメリカでは確固たる地位を確立している「D3」が日本進出、オートサロンに初出展。「D3」は、やみくもにパワーを追い求めるのではなく、トータルでのバランスを重視したテクノロジーとデザインの融合を身上とするチューナーで、現時点で日本展開の中心ラインナップとなるエアロパーツも、見た目のインパクトではなく、性能を重視したスポーティなデザインのものを用意。その他、サスペンションなどの足まわりパーツも用意する。当面の対応車種はATS、SRXクロスオーバー、CTS、CTS-Vの4車種。